事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0272				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	吉村　紀男
所属	2301	消防局消防総務課		記入者	山本　啓二
事務事業番号	00261	消防音楽隊事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	015　消防音楽隊事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市消防音楽隊規程				
事業概要	(事業概要) 消防音楽隊の活動を通して、広く市民に防火防災に関する広報活動と啓発活動を展開するとともに、大津市の防災まちづくりを推進する手法の一つとして、音楽隊演奏により安心、安全に暮らすことのできるまちづくりの推進や防火・防災意識の高揚を図るもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 防火防災に対する市民意識が高まる中、幅広い年齢層への効果的な広報活動が求められている。令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に成果指標が減少したが、令和４年９月以降、イベント制限の緩和により演奏依頼が増加しており、コロナ禍前の事業水準に戻りつつある。 (見直しや改善等の経過) コロナ禍前と同様の広報活動になるように取り組んでいる。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民に対し
目的(何のために)	広報活動による防火・防災意識の高揚のために、
手段(どのようなやり方で)	消防音楽隊の演奏活動を通じて、
成果(どのような状態にするのか)	安心、安全に暮らすことのできるまちづくりを推進するとともに湖都「大津」のイメージアップに貢献する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	4,272	4,994	5,063	5,073	5,063	5,063	5,063
事業費	294	314	383	393	383	383	383
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	294	314	383	393	383	383	383
人件費計	3,978	4,680	4,680	4,680	4,680	4,680	4,680
事務・技術（人）	0.51	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0272
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
事務事業番号　00261　消防音楽隊事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-31-00-01-00	消防音楽隊事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
（活動）　訓練回数	回	24.00 19.00	24.00 19.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00
（活動）　演奏回数	回	10.00 12.00	15.00 13.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
（成果）　演奏実施率	%	100.00 120.00	100.00 86.67	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	防火防災意識の啓発と市民に身近な広報活動として効果的である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	演奏の実績値は昨年度を超え、以前の事業水準に戻りつつある。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	必要最小限の全体訓練で演奏を実施し費用対効果を高めている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民への防火防災意識の高揚に有効な手段である。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	年間を通してコロナ禍前の事業水準に戻りつつあり、演奏依頼は増加している。 今後も市民の付託に応えられるよう、訓練のあり方及び派遣内容や演奏方法等を検討しつつ音楽を通じた広報活動として事業を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	音楽隊による広報活動は、幅広い年代に火災予防を啓発するための有効な方法である。新型コロナウイルス感染症拡大前と同様に、効率的かつ効果的な消防広報活動を推進していくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00261　消防音楽隊事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)　訓練回数	回	24.00 19.00	24.00 19.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00
	指標説明	音楽隊の訓練回数						
(活動)　演奏回数	回	10.00 12.00	15.00 13.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	音楽隊の出演演奏回数						
(成果)　演奏実施率	%	100.00 120.00	100.00 86.67	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	防火広報活動として年間の演奏目標回数に対する実施率						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号	0273				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	吉村　紀男
所属	2301	消防局消防総務課		記入者	山本　勝巳
事務事業番号	00266	団員消防活動事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002　地域防災力の向上				
事務事業	006　団員消防活動事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律				
事業概要	(事業概要) 消防団員は、特別職の地方公務員として市民の生命・身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災または地震等の災害を防除し、これらの災害に因る被害を軽減することをその任務としており、これらの消防団員の報酬及び災害出動等に伴う費用弁償並びに福利厚生事業を展開するとともに、消防団員の確保に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、災害は激甚化・頻発化・広域化し、いつ起こるかわからない自然災害が頻発する中、平成２５年１２月、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、市民の消防団に寄せられる期待は大きい。 (見直しや改善等の経過) 退団者の被服等を有効活用するため、「予備被服エコバンク」制度を継続し、経費削減に努める。 令和５年度は５月に新型コロナウイルス感染症が５類感染症に引き下げられ、各種防火・防災訓練などの市民活動が再開されたことにより、訓練回数が増加した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防団員に対し
目的(何のために)	市民生活の安心安全を確保するため
手段(どのようなやり方で)	消防団員の報酬と費用弁償及び消防団活動に必要な被服や消耗品等の支給と公務災害への身分保障により
成果(どのような状態にするのか)	円滑な消防団活動を展開するとともに、継続的な消防団員の確保に繋がる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	128,126	159,941	130,784	146,795	135,537	150,421	150,421
事業費	122,206	153,981	124,824	140,835	129,577	144,461	144,461
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	17,157	47,172	17,488	32,549	17,485	32,485	32,485
一般財源	105,049	106,809	107,336	108,286	112,092	111,976	111,976
人件費計	5,920	5,960	5,960	5,960	5,960	5,960	5,960
事務・技術（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0273
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
事務事業番号　00266　団員消防活動事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-10-51-00-01-00	団員消防活動費	消防局消防総務課
01-45-05-10-51-00-05-00	団員報酬等費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
（活動）消防団員定数	人	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00
		1,215.00	1,214.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）訓練指導回数	回	26.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00
		59.00	89.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）充足率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		92.50	92.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）訓練指導率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		226.90	143.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消防組織法で消防団員は市町村の規則で定めるよう明記され妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	団員数確保は全国同様に難しい状況だが、訓練指導は充実している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	消防団が住民指導を実施することで地域防災力の向上につながる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民を災害から守る消防団員の強化は災害に強いまちづくりに貢献			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	新型コロナウイルス感染症が５類感染症に引き下げられたことに伴い、コロナ禍以前に実施していた各事業を消防団員の負担軽減対策を考慮しつつ、消防団と調整し積極的に推進することで、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。 大津市消防出初式や各地区での催しや訓練を通じて、消防団員募集を呼びかけることにより、消防団員の確保対策に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	地域防災力の向上のため、消防団が地域の中核となり、地域住民の防災に関する意識を高める必要がある。 このことから、消防団員の確保を進めるとともに、安全で迅速に消防団活動ができるよう環境等を整備し、消防団を中核とする地域防災力の一層の充実強化を図り、市民の安全確保に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00266　団員消防活動事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
（活動）消防団員定数	人	1,313.00 1,215.00	1,313.00 1,214.00	1,313.00 0.00	1,313.00 0.00	1,313.00 0.00	1,313.00 0.00	1,313.00 0.00
	指標説明	消防団員定数を目標とした団員確保数						
（活動）訓練指導回数	回	26.00 59.00	62.00 89.00	62.00 0.00	62.00 0.00	62.00 0.00	62.00 0.00	62.00 0.00
	指標説明	消防団員による市民への訓練指導件数 令和５年度に新型コロナウイルスが５類感染症に移行したことに伴い、目標値を平成３０年度の実績値とした						
（成果）充足率	%	100.00 92.50	100.00 92.46	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	条例定数に対する充足率						
（成果）訓練指導率	%	100.00 226.90	100.00 143.55	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	平成１８年度の訓練指導出動回数（２６回）を１００とした場合の出動率 令和５年度以降は平成３０年度の実績値である６２回を１００とした場合の出動率とする。						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0274				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	吉村　紀男
所属	2301	消防局消防総務課		記入者	山本　勝巳
事務事業番号	00268	団消防車両等整備事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002　地域防災力の向上				
事務事業	008　団消防車両等整備事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防力の整備指針				
事業概要	(事業概要) 消防団活動に必要不可欠な資機材である消防団車両を整備することにより、災害防ぎょ活動の強化を図り、市民の生命・身体及び財産を保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、これらによる被害の軽減により、市民生活の安心・安全を確保する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、災害が激甚化・頻発化・広域化する中で、消防関係機関に寄せられる市民の期待は年々大きくなっている。 (見直しや改善等の経過) 消防団車両等については、計画の実現性や費用対効果を考慮し、時代に即した改善に取り組んできた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防団車両等（消防ポンプ車、小型動力ポンプ積載車、小型動力ポンプ）について
目的(何のために)	市民の安心・安全な生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	更新と維持管理により
成果(どのような状態にするのか)	消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	37,087	3,130	98,516	53,402	45,276	53,428	53,428
事業費	33,187	1,570	96,956	51,842	43,716	51,868	51,868
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	29,483	0	90,000	47,500	33,700	47,500	47,500
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,704	1,570	6,956	4,342	10,016	4,368	4,368
人件費計	3,900	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560
事務・技術（人）	0.50	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0274
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
事務事業番号　00268　団消防車両等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-10-61-00-01-00	団消防車両等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
（活動）消防ポンプ車又は小型ポンプ積載車の新規購入又は更新	台	2.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
（活動）小型動力ポンプの新規購入又は更新	台	1.00 1.00	0.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
（成果）消防分団数に対する消防ポンプ車等の実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
（成果）小型ポンプの実施率	%	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	大規模災害に備え、各学区への分団車両配備は妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	消防団車両を中心とした活動により地域防災力は向上している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	車両再編計画に基づき効率的に更新している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	防災力の要である消防団車両等更新は災害に強いまちづくりに直結			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	消防団車両等の更新整備については、地域防災力の充実強化に欠かせない事業であることから、「大津市消防団車両等再編計画」に基づき、消防団と調整を図り、現在配備している車両等の老朽化の状況等も鑑み、適正に更新整備していく。 令和５年度に更新予定であった分団車２台については、部品供給不足などの要因により、車両製造数が全国的に減産したため年度内の納期に調達できないことから、令和６年度（債務負担）に更新予定。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	近年、激甚化・頻発化・広域化する災害に伴い、消防団による現場活動の必要性は年々高まっている中、消防団車両等の更新整備については、地域防災力の充実強化に欠かせない事業である。社会情勢を注視しつつ引き続き、消防団と連携を図りながら、「大津市消防団車両等再編計画」に基づき更新整備すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00268　団消防車両等整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
（活動）消防ポンプ車又は小型ポンプ積載車の新規購入又は更新	台	2.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	消防ポンプ車又は小型ポンプ積載車の新規購入又は更新（債務負担分を含む）						
（活動）小型動力ポンプの新規購入又は更新	台	1.00 1.00	0.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	小型動力ポンプの新規購入又は更新						
（成果）消防分団数に対する消防ポンプ車等の実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	「大津市消防団車両等再編計画」に基づく消防分団に対する消防ポンプ車の実施率						
（成果）小型ポンプの実施率	%	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	「大津市消防団車両等再編計画」に基づく小型ポンプの更新						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0275				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	吉村　紀男
所属	2301	消防局消防総務課		記入者	佐山　真也
事務事業番号	02526	防火衣更新事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	014　防火衣更新事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市消防吏員の服制に関する規則、大津市消防吏員の被服等の貸与に関する規程				
事業概要	（事業概要） 平成２６年から貸与している防火衣は、耐用年数が経過しており経年劣化及び損傷が多くみられる。 また、総務省消防庁において、防火装備の性能基準を示したガイドラインが策定されており、令和４年４月に更新されたことから、近年の激甚化・頻発化・広域化する災害から活動隊員の安全を確保するために防火衣及び活動服を更新し、消防活動体制の強化を図るもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 近年、建物の高気密化・高断熱化により、火災現場における消防吏員の活動危険が高まっている。建物構造と火災性状の変化に伴い、総務省消防庁においても個人防火装備の性能基準を示したガイドラインが更新された。 （見直しや改善等の経過） 防火衣は、令和５年度から順次更新しており、現場対応職員を最優先に更新するとともに、年次計画的に全職員分を更新する計画とした。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	総務省消防庁が示した個人防火装備のガイドラインに準じた防火衣及び活動服
目的（何のために）	あらゆる災害において活動する隊員の安全確保を図ることを目的とする。
手段（どのようなやり方で）	現場活動を行う可能性のある全職員分を、複数年度で計画的に更新する。
成果（どのような状態にするのか）	近年の災害状況に対応した活動が可能となり、消防活動体制が強化される。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	10,774	36,582	37,841	38,946	23,552	8,587	8,286
事業費	3,754	31,122	33,941	35,046	19,652	4,687	4,386
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,754	31,122	33,941	35,046	19,652	4,687	4,386
人件費計	7,020	5,460	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術（人）	0.90	0.70	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0275
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
事務事業番号　02526　防火衣更新事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-09-00	防火衣更新事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)活動服更新数	着	90.00	90.00	105.00	102.00	109.00	109.00	102.00
		90.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)防火衣更新数	式	0.00	84.00	84.00	84.00	41.00	0.00	0.00
		0.00	84.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)活動服更新率	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)防火衣更新率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	活動隊員の安全に直結する事業であり、実施主体及び手段は妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	年次計画的な更新で、成果目標が達成できている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	現場対応職員を優先した更新計画を作成している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	活動隊員の安全確保、消防体制の充実、円滑な災害対応に繋がる。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	活動服及び防火衣は、現場で活動隊員の身を守る最も重要な装備であり、活動隊員の安全性を向上させることが、市民の安心・安全を守ることに繋がる。 活動服は令和４年度から更新を始め、令和６年度で全職員の貸与が完了する。今後も計画的に更新していく。 防火衣は令和５年度から現場対応職員を最優先に更新するとともに、年次計画的に全職員分を更新していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市民の安心・安全を確保するためにも、安全性の高い防火服及び活動服により災害現場における活動隊員を守ることが必要である。引き続き、計画的に更新すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02526　防火衣更新事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)活動服更新数	着	90.00 90.00	90.00 90.00	105.00 0.00	102.00 0.00	109.00 0.00	109.00 0.00	102.00 0.00
	指標説明	全職員を３グループに分け、毎年１グループ分の活動服を更新する。						
(活動)防火衣更新数	式	0.00 0.00	84.00 84.00	84.00 0.00	84.00 0.00	41.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	令和５年度から年次計画的に全職員分を更新する。令和５年度から令和７年度の３年間は、現場対応職員を優先して更新する。※令和４年度については、更新に伴う検討委員会を開催						
(成果)活動服更新率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	更新予定数に対する更新率						
(成果)防火衣更新率	%	0.00 0.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	更新予定数に対する更新率						
(活動)防火衣等検討委員会の開催	回	2.00 2.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	活動服及び防火衣更新に伴う検討委員会の開催 ※令和４年度で検討委員会は終了し、各更新数の定量評価へ移行する。						
(成果)防火衣等検討委員会の開催	%	100.00 100.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	検討委員会の開催予定数に対する実施率						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0276				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	駒村　保
所属	2353	消防局予防課		記入者	武田　友紀子
事務事業番号	00224	自主防災組織等育成事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002　地域防災力の向上				
事務事業	004　自主防災組織等育成事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	災害対策基本法、消防組織法、大津市災害等対策基本条例				
事業概要	(事業概要) 大規模災害に対する事前の備えと被害の軽減を目指して、学区自主防災会・地域（自治会）自主防災組織・女性防火クラブ連合会等の防災に関連する団体の育成に係る補助を行い、組織の活性化及び災害対応能力を強化させることにより、地域防災力の向上を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 各種災害が激甚化、頻発化、広域化の傾向にあり、市民の公助に対する期待が高まるなか、自助・共助にかかる防災意識の醸成が必要である。 (見直しや改善等の経過) 補助事業を効果的に活用いただけるよう、地域の要望等を踏まえ申請対象者や補助対象となる資器材の見直しを随時行っており、令和６年度からは学区自主防災組織活動補助金の拡充を行った。また、令和３年度からは、防災関係団体等の連携を図ることなどを目的に地域防災力連携強化会議の開催を推進している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	学区及び自治会の自主防災組織並びに女性防火クラブ連合会に対し
目的(何のために)	地震や土砂災害等の大規模災害時に被害の軽減を行うとともに、市民の生命を守り安心な生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	防火・防災資器材等をはじめとした、補助金の交付及び各種訓練指導を行い
成果(どのような状態にするのか)	公助に頼ることなく、自分の身は自分で守り（自助）、自分たちのまちは自分たちで守る（共助）という考えから自主防災活動を通じて、災害発生時の被害軽減を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	57,634	58,335	55,237	57,237	57,237	57,237	57,237
事業費	6,274	4,695	6,157	8,157	8,157	8,157	8,157
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1,400	1,590	2,000	2,000	2,000	2,000
一般財源	6,274	3,295	4,567	6,157	6,157	6,157	6,157
人件費計	51,360	53,640	49,080	49,080	49,080	49,080	49,080
事務・技術（人）	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.80	1.20	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0276
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2353　消防局予防課
事務事業番号　00224　自主防災組織等育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-41-00-03-00	自主防災組織等育成事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)学区自主防災組織活動補助金利用数	組織	26.00 30.00	26.00 35.00	26.00 0.00	26.00 0.00	26.00 0.00	26.00 0.00	26.00 0.00
(活動)地域における防災関係者会議数	回	8.00 21.00	20.00 29.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
(成果)学区自主防災組織訓練実施率	%	100.00 61.11	100.00 72.22	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(成果)訓練１件あたりに占める防災士の活動人数	人	1.50 1.64	1.50 2.01	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域における防災力向上のため本市の財政支援は妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	補助事業等が自主防災組織体制の活性化と充実強化に有効である。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	補助事業により効率的に資器材を整備することが可能である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	補助事業やフォローアップ研修等で自主防災組織の充実強化に貢献			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	学区及ぴ地域の自主防災組織等への財政的支援により、防災意識を高め、地域における自主的な防災活動を充実させるとともに、自助・共助による地域防災力を強化することで、災害による被害を軽減させる防災体制を構築する。また、地域における防災関係団体等について連携体制の構築を図るとともに、効果的で持続可能な訓練の支援に取り組み地域防災力の向上を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	自主防災組織への財政支援を継続するとともに、市民主体の効果的な訓練の実施と地域防災力連携強化会議の開催を支援して災害に強いまちづくりを推進すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2353　消防局予防課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00224　自主防災組織等育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)学区自主防災組織活動補助金利用数	組織	26.00 30.00	26.00 35.00	26.00 0.00	26.00 0.00	26.00 0.00	26.00 0.00	26.00 0.00
	指標説明	学区自主防災組活動補助金を利用した組織数						
(活動)地域における防災関係者会議数	回	8.00 21.00	20.00 29.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	地域における防災関係者の会議数（ブロック防災圏、学区連携強化会議） （※令和５年度からは地域防災力充実強化事業の進展に伴い指標を上方修正）						
(成果)学区自主防災組織訓練実施率	%	100.00 61.11	100.00 72.22	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	学区自主防災組織の訓練実施率						
(成果)訓練１件あたりに占める防災士の活動人数	人	1.50 1.64	1.50 2.01	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00
	指標説明	訓練１件あたりに占める防災士の活動人数（防災士の訓練参加人数／学区、地域訓練回数）						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0277				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	駒村　保
所属	2353	消防局予防課		記入者	木下　龍起
事務事業番号	02372	火災予防業務事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	005　火災予防業務事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	消防法、火災予防条例、火災予防査察規程、火災予防違反処理規程、火災調査規程				
事業概要	（事業概要） 防火対象物や危険物施設における防火・防災対策について適正な指導を行い、建物利用者の安全確保及び危険物施設に関連する事故防止の徹底を図る。また、火災の出火原因や傾向を分析し、効果的な広報を展開するとともに実効性の高い訓練指導を行い、住宅火災等の発生防止に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市内の防火対象物数に大きな増減はないが、危険物施設数については減少傾向にある。火災件数は一昨年から増加しており、住宅火災については横ばいで推移している。 （見直しや改善等の経過） 消防法令違反に対しては、適正に違反処理（行政指導、行政処分）を行い早期是正を促進するとともに、自主防火・防災管理体制の強化を推進している。また、発生した火災の原因の傾向と対策を分析し、類似火災の防止対策に取り組み効果的かつ多様な火災予防啓発を進めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	防火対象物、危険物施設等の事業所及び住宅（市民）を対象として
目的（何のために）	防火対象物や危険物施設の火災及び事故の発生危険の排除及び、住宅火災減少のために
手段（どのようなやり方で）	防火対象物及び危険物施設への立入検査を年間業務計画に基づき適正に行うとともに、住宅火災の出火原因や傾向を分析し効果的な広報や市民主体による実効性のある訓練指導を行うことにより
成果（どのような状態にするのか）	防火対象物及び危険物施設に対して消防法令違反を是正し、防火・防災対策の向上を図るとともに、類似火災や住宅火災の発生を防止することで安心・安全に暮らすことのできるまちづくりの実現を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	236,105	225,248	220,892	223,185	220,892	220,892	220,892
事業費	1,445	1,880	2,162	4,455	2,162	2,162	2,162
国庫支出金	0	0	0	1,146	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,445	1,880	2,162	3,309	2,162	2,162	2,162
人件費計	234,660	223,368	218,730	218,730	218,730	218,730	218,730
事務・技術（人）	29.50	27.76	27.75	27.75	27.75	27.75	27.75
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.80	1.20	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0277
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2353　消防局予防課
事務事業番号　02372　火災予防業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-41-00-05-00	火災予防業務費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)防火対象物等の立入検査数	回	2,200.00 2,775.00	2,200.00 2,534.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00
(活動)施設及び設備等を活用した専門性の高い火災原因調査件数	件	15.00 25.00	15.00 33.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
(成果)立入検査の指摘事項に対する是正数	件	3,000.00 3,100.00	3,000.00 3,258.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00
(成果)製品火災の原因判定率	%	90.00 97.44	90.00 97.56	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	出火防止、安全対策の指導にかかる事業主体、手段は妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	安心、安全に暮らすことのできるまちづくりに寄与している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	社会情勢を見極めて適正かつ効率的な実施方法に努めている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	予防対策の充実強化に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	防火対象物及び危険物施設に係る防火・防災について安全性を向上させるため、消防法令違反に対する是正指導が行える組織体制の確立に努める。また、自主防火・防災管理体制の強化を図り、事業所等における持続可能な出火防止及び事故防止対策を推進する。火災の原因調査については、高度な分析機器等を有効に活用して鑑識及び燃焼実験を行い出火原因の究明に努める。また、その調査結果を活用して積極的に効果的な広報活動を実施し類似火災の発生防止を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	防火対象物等に対して、引き続き適正・適切な指導等を行い、施設利用者等の安全確保を推進すること。 また、効果的な火災予防啓発を展開するとともに住宅火災防止対策の徹底を図り、安心・安全に暮らすことのできるまちづくりを推進すること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2353　消防局予防課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02372　火災予防業務事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)防火対象物等の立入検査数	回	2,200.00 2,775.00	2,200.00 2,534.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00
	指標説明	防火対象物、危険物施設の立入検査数を計上						
(活動)施設及び設備等を活用した専門性の高い火災原因調査件数	件	15.00 25.00	15.00 33.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	施設及び設備等を活用した専門性の高い火災原因調査件数（鑑識、鑑定、燃焼実験）						
(成果)立入検査の指摘事項に対する是正数	件	3,000.00 3,100.00	3,000.00 3,258.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00
	指標説明	立入検査の指摘事項に対する是正数を計上（是正数には改修報告提出数を含む）						
(成果)製品火災の原因判定率	%	90.00 97.44	90.00 97.56	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	製品火災の原因判定率を計上（件数は車両火災のすべてを含む）						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0278				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	中邑　康高
所属	2354	消防局警防課		記入者	山中　創
事務事業番号	00278	消防車両等整備事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	008　消防車両等整備事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法　消防法　消防力の整備指針				
事業概要	（事業概要） 激甚化、頻発化、広域化する災害に、迅速かつ的確に対応する能力を維持するため、消防車両、救急車両、消防用機械器具等の更新、並びに修繕・整備が不可欠となる。このことから消防車両等整備計画に基づき、年次計画的に車両及び車両に積載する消防用機械器具の更新、はしご車等の定期的なオーバーホールを実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 激甚化、頻発化、広域化する災害に加え、テロ災害の危険性も高まるなど、刻々と社会環境は変化している。また、救急件数の増加、救急業務の高度化など市民のニーズは増大している。 （見直しや改善等の経過） 災害の様態を考慮した車両設計や更新計画を策定するとともに、オーバーホールなどのメンテナンスを行うことで、効率的な維持管理に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	消防・救急車両及び積載消防用機械器具等を
目的（何のために）	激甚化、頻発化、広域化する災害に迅速かつ的確に対応するために
手段（どのようなやり方で）	年次計画に基づき更新及び大規模な修繕整備を行い
成果（どのような状態にするのか）	災害現場において、迅速・確実に、かつ最大限にその能力を発揮させ、災害による被害の軽減を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	87,842	464,150	246,694	156,669	171,640	148,700	269,180
事業費	83,942	460,250	242,794	152,769	167,740	144,800	265,280
国庫支出金	14,155	77,022	0	18,966	12,656	20,237	57,197
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	61,486	193,100	223,400	73,700	121,400	109,500	183,000
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,301	190,128	19,394	60,103	33,684	15,063	25,083
人件費計	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術（人）	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0278
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　00278　消防車両等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-26-00-01-00	消防車両等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
（活動）消防・救急車両更新台数（消防車、救急車）	台	4.00 4.00	6.00 6.00	4.00 0.00	4.00 0.00	5.00 0.00	4.00 0.00	3.00 0.00
（成果）消防・救急車両更新計画に基づく更新実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	車両更新計画と実情に応じて更新している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	車両を維持管理する事で確実に成果が上がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	改善点も見られるが効率的に事業推進が行えている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	計画に基づき車両を更新整備する事により目標達成に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	車両については、車両更新計画に基づき効果的に更新する。車両更新の際には、車両、資器材が的確なコストであるかを見極めて仕様書を作成する。また、災害対応能力を維持できるようメンテナンスを継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	災害対応力を維持するには、車両等の更新整備事業は極めて重要である。引き続き車両更新計画に基づき整備を進めること。また、地域の特性を踏まえ、効率的、効果的な車両運用に努め、災害対応に支障のないよう、メンテナンス整備を徹底すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00278　消防車両等整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
（活動）消防・救急車両更新台数（消防車、救急車）	台	4.00 4.00	6.00 6.00	4.00 0.00	4.00 0.00	5.00 0.00	4.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	消防・救急車両更新計画に基づく更新台数						
（成果）消防・救急車両更新計画に基づく更新実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	消防・救急車両更新計画に基づく更新台数の成果率。（部品不足等の納期延長に伴う繰越措置を含む）						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号	0279				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	中邑　康高
所属	2354	消防局警防課		記入者	近澤　昌二
事務事業番号	00279	消防水利施設整備事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	006　消防水利施設整備事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法　消防法　消防水利の基準				
事業概要	(事業概要) 火災発生時の消火活動を円滑に行うため、また、大規模災害に伴う火災発生時の消防水利確保のため、消火栓及び耐震性貯水槽等消防水利施設の整備を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 耐震性貯水槽は、大規模災害に繋がる危険性が高い地域への設置が必要であるが、設置するための用地確保が困難な状況にある。 また、既存の水利施設は老朽化が進み、維持管理のため更新、廃止が必要なものも出てきている。 (見直しや改善等の経過) 以前は学区ごとにバランスを考慮して設置してきたが、平成２８年に糸魚川市で発生した大規模木造住宅密集地火災の教訓から、大規模災害に繋がる危険性が高い地域に設置する長期計画とした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消火栓及び、耐震性貯水槽等の消防水利施設を
目的(何のために)	火災発生時の消火活動を円滑に行うため、また大規模災害に伴う火災発生時の消防水利確保のため
手段(どのようなやり方で)	消火栓については、水道配管の新設や維持管理に併せて設置及び修繕を行い、耐震性貯水槽については、大規模災害につながる危険性が高い地域を捉えて整備し
成果(どのような状態にするのか)	火災発生時における被害の軽減を図る

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	65,621	58,041	42,982	55,039	72,239	55,039	72,239
事業費	61,721	54,141	39,082	51,139	68,339	51,139	68,339
国庫支出金	2,653	0	0	0	3,996	0	3,996
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	8,514	0	4,500	0	9,300	0	9,300
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	50,554	54,141	34,582	51,139	55,043	51,139	55,043
人件費計	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術（人）	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0279
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　00279　消防水利施設整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-15-66-00-01-00	消防水利施設整備費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)　耐震性貯水槽の整備数（目標値隔年１基）	基	1.00 1.00	0.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00
(成果)　耐震性貯水槽設置数	基	78.00 78.00	0.00 78.00	79.00 0.00	79.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	81.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	火災発生時の水利確保のため整備を推進することは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	消火栓と耐震性貯水槽の整備により消防水利の充実が図れている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	隔年ごとに設置する等計画的に整備できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	火災発生時の消火体制が確保でき市民の安心安全に繋がっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	木造の建築物が多く大規模災害に繋がる危険性の高い地域において、火災発生時に有効となる設置場所を検討及び調査し、計画的に耐震性貯水槽の整備を行っていくとともに、水道配管の新設や維持管理に併せて消火栓の設置及び修繕を行い、消防水利の充実を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	耐震性貯水槽の整備については、大規模災害に繋がる危険性の高い地域から可能な限り選定し、計画に基づき推進すること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00279　消防水利施設整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)　耐震性貯水槽の整備数（目標値隔年１基）	基	1.00 1.00	0.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	耐震性貯水槽の整備数（隔年ごとに設置）						
(成果)　耐震性貯水槽設置数	基	78.00 78.00	0.00 78.00	79.00 0.00	79.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	81.00 0.00
	指標説明	昭和５９年度以降、消防局が整備した耐震性貯水槽の設置数※令和５年度以前は活動目標値が０の場合、成果目標値も０としていたが、令和６年度以降は活動目標値に関わらず、実設置数を成果指標値に反映する。						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0280				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	中邑　康高
所属	2354	消防局警防課		記入者	下田　明夫
事務事業番号	00282	特殊災害活動体制整備事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	010　特殊災害活動体制整備事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防法　消防組織法　消防力の整備指針				
事業概要	(事業概要) 大規模自然災害をはじめ、山岳救助事故、水難救助事故などの特殊災害に的確に対応できる人材を育成するため、訓練環境等の整備を行い、災害対応体制を強化するもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 生活様式や余暇活動の多様化等により、山岳、水難救助事故が増加することに加え、自然災害も頻発しており、この分野に的確に対応できる隊員の育成が求められている。 (見直しや改善等の経過) 事案の多様化に伴い、活動環境も多様化している中、最小限の経費で最大限の効果を挙げるべく、当務ＯＪＴや外部ＯＪＴ、現地訓練など訓練環境の整備を行ってきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	救助隊員をはじめ、消防局職員に対し
目的(何のために)	大規模自然災害や水難・山岳救助事案などの災害による活動体制の整備と、災害による被害を軽減するために
手段(どのようなやり方で)	年間訓練計画に基づき、実践的な訓練を実施することによって
成果(どのような状態にするのか)	これらの災害に安全・的確・迅速に対応できる人材を育成し、市民の安心・安全な暮らしを確保する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	152,524	180,944	181,208	181,316	181,505	181,316	181,505
事業費	1,204	1,544	1,808	1,916	2,105	1,916	2,105
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,204	1,544	1,808	1,916	2,105	1,916	2,105
人件費計	151,320	179,400	179,400	179,400	179,400	179,400	179,400
事務・技術（人）	19.40	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0280
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　00282　特殊災害活動体制整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-01-00	特殊災害活動体制整備事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)救助隊定期訓練回数	回	12.00 11.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
(活動)水難救助訓練回数	回	11.00 10.00	10.00 10.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
(成果)救助隊定期訓練実施率	%	100.00 91.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(成果)水難救助訓練実施率	%	100.00 90.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	危険と隣り合わせとなる特殊環境での活動			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	継続的な訓練により安全かつ有益な活動に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	年間計画に基づき実践的な訓練を実施			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	特殊災害への備えは市民の安心安全に繋がる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	大規模自然災害をはじめ、山岳事故、水難事故に即応するためには事前の備えが極めて重要であり、安全な活動を実施するためにも、次世代を見据えた隊員の教育訓練を実施していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	大規模自然災害をはじめ、山岳事故、水難事故に即応するためには、人材育成及び次世代を見据えた観点から、計画的に隊員の育成を行う必要があるため、効果的な教育研修や訓練を実施していくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00282　特殊災害活動体制整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)救助隊定期訓練回数	回	12.00 11.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	救助隊定期訓練の「訓練回数」「単位：回」						
(活動)水難救助訓練回数	回	11.00 10.00	10.00 10.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
	指標説明	水難救助訓練の「訓練回数」「単位：回」						
(成果)救助隊定期訓練実施率	%	100.00 91.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	救助隊定期訓練の「訓練実施率」「単位：%」						
(成果)水難救助訓練実施率	%	100.00 90.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	水難救助訓練の「実施率」「単位：%」						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号　0281
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中邑　康高
所属　2354　消防局警防課　記入者　近澤　昌二
事務事業番号　00284　消防救助業務事業

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	011　消防救助業務事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法　消防法				
事業概要	(事業概要) 火災をはじめ、各種災害に迅速かつ的確に対応するため、各部隊の災害対応訓練を実施することにより部隊活動体制の強化を図り、市民の生命、身体及び財産を各種災害から保護する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、火災はもとより地震、洪水、土砂災害などの自然災害が頻発している。 (見直しや改善等の経過) 特別消火隊員を南消防署に配備し、火災発生時における人命救助と被害軽減を図るため、各隊が消火隊の教育訓練を実施している。また、各隊との連携した訓練も計画的に実施している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防・救助資機材と各部隊を
目的(何のために)	各種災害に対応し、被害を最小限に留めるために
手段(どのようなやり方で)	年次計画的に資機材を整備し、各隊の連携を強化することにより
成果(どのような状態にするのか)	災害対応力の向上を図る

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	1,060,919	1,008,705	1,021,593	1,021,654	1,021,654	1,021,654	1,021,654
事業費	3,479	3,213	3,297	3,358	3,358	3,358	3,358
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,479	3,213	3,297	3,358	3,358	3,358	3,358
人件費計	1,057,440	1,005,492	1,018,296	1,018,296	1,018,296	1,018,296	1,018,296
事務・技術（人）	132.50	125.84	127.92	127.92	127.92	127.92	127.92
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	4.20	4.20	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0281
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　00284　消防救助業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-04-00	消防救助業務費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)４署２分署での年間訓練実施回数（目標１回/１日）	回	2,190.00 2,728.00	2,190.00 2,203.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00
(成果)４署２分署での年間訓練実施率（基準１回/１日）	%	100.00 124.57	100.00 100.59	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消防機関として資器材装備の整備と部隊活動の強化は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	資器材装備の充実と部隊強化により被害の軽減に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	年次計画により効率的に資器材整備や部隊強化が図れている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	資器材整備と活動技術向上により消防力の充実に貢献できている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	火災をはじめ、各種災害に対応できるよう計画的に資機材装備の充実を図るとともに、各隊（指揮隊、消火隊、救助隊）の連携強化を推進し、災害対応能力の向上と被害の軽減に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	火災をはじめとする各種災害に対応するため、資機材装備の充実を図り、各隊の連携を図るための訓練を強化し、災害対応能力の向上と被害の軽減に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00284　消防救助業務事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)４署２分署での年間訓練実施回数（目標１回/１日）	回	2,190.00 2,728.00	2,190.00 2,203.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00
	指標説明	現場活動能力の向上を図るための訓練実施回数（目標値：各署１日１回以上、FW訓練入力分で抽出）						
(成果)４署２分署での年間訓練実施率（基準１回/１日）	%	100.00 124.57	100.00 100.59	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	訓練実施回数達成率（基準値：各署１日１回、FW訓練入力分で抽出）						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0282				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	中邑　康高
所属	2354	消防局警防課		記入者	北村　勝
事務事業番号	00287	救急高度化推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	002　救急救命体制の充実				
事務事業	001　救急高度化推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法　消防法　救急救命士法				
事業概要	（事業概要） 救急業務に対する市民ニーズが多様化するなか、指示医療機関である３病院と連携して平成２８年度から派遣型救急ワークステーション（以下「ＷＳ」という。）を本格運用し、救急救命士を含む救急隊員の応急処置等について医学的な質の保証を図るなど、救急業務の高度化を推進している。また、新規救急救命士の養成及び救急救命士が高度な処置を行うための研修への派遣、並びにメディカルコントロール体制の充実強化を図っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 超高齢社会にあって、救急業務に対する市民ニーズが多様化・複雑化し、救急出動及び傷病者搬送件数が増加傾向にある。 （見直しや改善等の経過） 指導救急救命士による救急救命士の教育体制を強化するとともに、ＷＳにより救急救命士や救急隊員の研修体制を改善させている。前年度に比べ、救命率も大幅に向上している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	①救急隊員を ②救急救命士を
目的（何のために）	傷病者の救命率・社会復帰率を向上させるため 傷病者の後遺症の軽減、容態の悪化防止のため
手段（どのようなやり方で）	①ＷＳへ派遣又は救急救命士養成所へ派遣し、新規救急救命士を養成することにより ②ＷＳへ派遣又は薬剤投与や気管挿管等の高度な処置を行うための追加研修に派遣することにより
成果（どのような状態にするのか）	早期に質の高い救命処置を行える体制が築け、傷病者の後遺症軽減と容態悪化を防ぐとともに、心肺停止傷病者の救命率を向上させる。加えて、１１９番通報時の口頭指導体制の強化と事後検証体制の強化を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	394,198	373,080	373,546	373,682	373,682	373,682	373,682
事業費	10,438	10,380	10,846	10,982	10,982	10,982	10,982
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,438	10,380	10,846	10,982	10,982	10,982	10,982
人件費計	383,760	362,700	362,700	362,700	362,700	362,700	362,700
事務・技術（人）	49.20	46.50	46.50	46.50	46.50	46.50	46.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0282
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　00287　救急高度化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-36-00-01-00	救急高度化推進事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)救急救命士数	人	83.00 82.00	87.00 86.00	89.00 0.00	89.00 0.00	88.00 0.00	88.00 0.00	88.00 0.00
(活動)気管挿管、アドレナリン投与等が実施できる救急救命士数	人	64.00 64.00	68.00 68.00	73.00 0.00	78.00 0.00	81.00 0.00	84.00 0.00	84.00 0.00
(成果)救命率（心原性かつ目撃があった症例の１か月生存率）	%	16.70 12.90	16.70 19.00	10.70 0.00	10.70 0.00	10.70 0.00	10.70 0.00	10.70 0.00
(成果)高度救命処置実施数	件	600.00 800.00	600.00 662.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	救急業務を行う消防機関が質の担保等を行うのは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	救命率は目標値を上回っている。救命体制の高度化は継続している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	研修派遣は計画的に進行、実習はＷＳで効果的に実施できている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	高度救命処置ができる救命士が増加し体制の充実が進んでいる。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	今後、定年退職等により現場で活動する救急救命士の人員が減少するため、新規救急救命士の計画的な養成と高度な救命処置が実施できる救急救命士を継続して養成する必要がある。また、派遣型救急ワークステーション等を通じて、病態判断と処置技術がより向上できるよう教育していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	増加する救急需要に対応し救命率を向上するためには、新規救急救命士の養成をはじめ、高度な救命処置（気管挿管、薬剤投与等）が実施できる認定救急救命士の養成は不可欠であるため、先を見据えた計画的な養成を図ること。また、複雑、多様化する救急事案に対応するため、生涯教育を通じて質の向上を図るとともに、救急救命士を含む全救急隊員の教育体制を充実強化させること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00287　救急高度化推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)救急救命士数	人	83.00 82.00	87.00 86.00	89.00 0.00	89.00 0.00	88.00 0.00	88.00 0.00	88.00 0.00
	指標説明	救急救命士の総数						
(活動)気管挿管、アドレナリン投与等が実施できる救急救命士数	人	64.00 64.00	68.00 68.00	73.00 0.00	78.00 0.00	81.00 0.00	84.00 0.00	84.00 0.00
	指標説明	気管挿管、アドレナリン投与等が実施できる救急救命士の総数						
(成果)救命率（心原性かつ目撃があった症例の１か月生存率）	%	16.70 12.90	16.70 19.00	10.70 0.00	10.70 0.00	10.70 0.00	10.70 0.00	10.70 0.00
	指標説明	R6年度以降の目標値は、R3～4の全国平均値とする。						
(成果)高度救命処置実施数	件	600.00 800.00	600.00 662.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00
	指標説明	心肺停止傷病者及び心肺停止前重度傷病者に対する高度救命処置実施延べ数						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0283				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	中邑　康高
所属	2354	消防局警防課		記入者	北村　勝
事務事業番号	02066	救急業務事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	002　救急救命体制の充実				
事務事業	002　救急業務事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	消防組織法　　消防法				
事業概要	(事業概要) 多様化する市民ニーズに的確に対応するため、救急活動資器材の整備をはじめ、市民による応急手当の実施率の向上を目的に、救命講習をはじめとする応急手当の普及啓発を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 救急件数が増加傾向にあり、救急資器材や医療用酸素等の消耗品需要が急増している。さらに、医療用資器材価格が上昇している。 (見直しや改善等の経過) 適切な救命処置の実施や市民応急処置の普及を図るため、資器材品目の見直し等による調達の合理化を進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	①　救急資器材等の装備及び消耗品を ②　小学校高学年から成人まで市民を対象としたＡＥＤの使用方法を含む応急手当講習を
目的(何のために)	①　超高齢社会の進展による救急要請の増加に対応するため ②　心肺停止傷病者の救命率の向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	①　年次的に整備・充実させることにより ②　積極的に学校や市民団体等へ普及し
成果(どのような状態にするのか)	①　市民から信頼される救急活動を実施する。 ②　受講者数を増加させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	190,188	207,981	215,597	216,739	216,739	216,739	216,739
事業費	9,228	8,847	9,287	10,429	10,429	10,429	10,429
国庫支出金	5,650	670	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,938	2,380	2,600	2,720	2,720	2,720	2,720
一般財源	640	5,797	6,687	7,709	7,709	7,709	7,709
人件費計	180,960	199,134	206,310	206,310	206,310	206,310	206,310
事務・技術（人）	23.20	25.53	26.45	26.45	26.45	26.45	26.45
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0283
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　02066　救急業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-07-00	救急業務費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)ＡＥＤの使用方法を含む講習受講者数（場所指定募集）	人	4,300.00 3,912.00	4,300.00 5,529.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00
(成果)市民による電気ショックの実施率	%	24.00 6.90	24.00 11.40	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	救急業務は法律で市町村業務となっており妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	市民の応急手当講習受講者数は着実に増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	講習では人形を一人１体用意するなど、効率的に実施できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	救急資器材の充実、受講者数の増加で貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	超高齢社会を迎え、自宅や施設等において心肺停止状態となる傷病者が増加すると考えられ、その場に居合わせた市民による応急手当が救命率を左右するため、市民による応急手当実施率を増やす必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	救命率の向上には市民による応急手当実施率を向上させる必要があるため、効率的かつ効果的な救命講習会を実施するとともに、増加する救急需要を踏まえた救急車の適正利用についても、救命講習会をはじめとする各種講習会や防火指導等を通じて広報に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02066　救急業務事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)ＡＥＤの使用方法を含む講習受講者数（場所指定募集）	人	4,300.00 3,912.00	4,300.00 5,529.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00	7,000.00 0.00
	指標説明	令和２～４年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対象者を制限していた。						
(成果)市民による電気ショックの実施率	%	24.00 6.90	24.00 11.40	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00
	指標説明	電気ショック実施総数のうち市民による実施率						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号	0284				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	中邑　康高
所属	2354	消防局警防課		記入者	下田　明夫
事務事業番号	02096	国際消防救助隊員育成事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	013　国際消防救助隊員育成事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	国際緊急援助隊の派遣に関する法律				
事業概要	（事業概要） 海外で大規模災害が発生した場合に、国際消防救助隊の登録消防本部として救助隊員を被災国に派遣するため、国の定める派遣体制を整えている。国際緊急援助活動に必要な教育訓練を実施するよう国の要綱に定められており、国際緊急援助活動のルールに遵守し知識及び救助技術の習得をさせる事業。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 海外でも大規模地震等が頻発し、日本の国際緊急援助隊救助チームの派遣体制の確保及び登録隊員は国際標準の救助技術や知識を備えている必要がある。 （見直しや改善等の経過） 登録隊員は原則、任期を４年単位として２年ごとに半数の隊員を更新している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	全国７７消防本部５９９人のうち、大津市消防局が登録している国際消防救助隊員６人を対象に
目的（何のために）	日本国政府唯一の救助チームとして、海外で発生した大規模災害に派遣される国際消防救助隊登録隊員に対し、国際的に定められた標準的手法や知識・技術習得のために
手段（どのようなやり方で）	年間教育訓練計画を年度当初に定め、当該計画を実行していく。また、総務省消防庁等が主催する各種教育訓練へ登録隊員を派遣する
成果（どのような状態にするのか）	国際標準の救助技術を習得する事により、派遣時に他機関（海上保安庁、警察機関）とスムーズな連携が実施できる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	23,800	19,908	19,976	19,905	19,905	19,905	20,047
事業費	400	408	476	405	405	405	547
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	400	408	476	405	405	405	547
人件費計	23,400	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
事務・技術（人）	3.00	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0284
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　02096　国際消防救助隊員育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-03-00	国際消防救助隊員育成事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)年間教育訓練	回	12.00 14.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
(成果)教育訓練実施率	%	100.00 120.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	登録消防本部として派遣体制を整える必要がある			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	国際標準技法に習熟することで国内の災害対応能力にも繋がる			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	他消防本部と連携し効率的に訓練を実施できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	国連機関の認証試験隊員として参加し、高い評価を得ている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	国際消防救助隊登録隊員は、国際標準の救助技術や知識、技術等を率先して習得し、当市の災害対応活動に還元するとともに、円滑な出動態勢確保のため本部職員を含めた組織的な訓練を実施していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	大規模災害時における捜索救助活動技術は日々変化しており、いつ派遣要請があっても即応できるよう、継続して知識、技術等の錬磨に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02096　国際消防救助隊員育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)年間教育訓練	回	12.00 14.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	年間の「訓練回数」「単位：回」						
(成果)教育訓練実施率	%	100.00 120.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	年間の「訓練実施率」「単位：%」						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0285				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	中邑　康高
所属	2354	消防局警防課		記入者	下田　明夫
事務事業番号	02634	大規模災害活動対応事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	012　大規模災害活動対応事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法　　消防法				
事業概要	(事業概要) 激甚化・頻発化・広域化する災害に加え、テロを含むＮＢＣ災害や予測困難な感染症等にも安全・的確に対応する必要がある。これら災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、かつ隊員の安全確保と負担軽減のため、消防活動資機材全般の更新整備を図るもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 激甚化・頻発化・広域化する災害に対する市民ニーズが高まっている。 (見直しや改善等の経過) 消防活動全般の資機材について、中長期計画および災害ニーズに応じた更新整備を図る。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	災害活動時に使用する活動資機材や保安資機材などを
目的(何のために)	激甚化・頻発化・広域化する災害の被害を軽減し、市民の生命、身体及び財産を保護するため
手段(どのようなやり方で)	中長期計画を基にした更新整備を進める一方で、災害ニーズに即応できるよう、消防・救急・救助の枠にとらわれることなく、災害現場活動に必要な資機材整備費を集約することで
成果(どのような状態にするのか)	安全、確実、迅速な救出救護活動と、活動隊員の二次災害防止、負担軽減が図られ、市民の安心、安全な暮らしを確保する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	146,837	148,785	144,330	152,176	152,176	152,176	152,176
事業費	15,857	17,805	14,490	22,336	22,336	22,336	22,336
国庫支出金	1,747	0	3,465	4,665	0	2,000	2,000
県支出金	67	0	81	0	81	0	81
地方債	0	0	3,000	7,170	0	0	0
その他	67	0	81	0	81	0	81
一般財源	13,976	17,805	7,863	10,501	22,174	20,336	20,174
人件費計	130,980	130,980	129,840	129,840	129,840	129,840	129,840
事務・技術（人）	16.50	16.50	16.50	16.50	16.50	16.50	16.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.40	0.40	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0285
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　02634　大規模災害活動対応事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-04-00	大規模災害活動対応事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)消防用活動資機材更新件数（リース契約、備品契約数）	件	12.00 11.00	9.00 8.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
(成果)消防用活動資機材更新率	%	100.00 91.00	100.00 88.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消防組織法により、市町は消防責任を負うことになっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	適切な更新整備により安全かつ迅速な活動に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	的確な活動と隊員の安全確保に繋がっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	大規模災害への備えは市民の安心安全に繋がる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	消防活動資機材の整備については、効果的・効率的に予算を執行するためにも、長期的な視点で活動資機材の更新を進めていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	自然災害をはじめとする大規模災害に即応できるよう、年次計画的に災害ニーズに応じた活動資機材の更新整備を図ること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02634　大規模災害活動対応事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)消防用活動資機材更新件数（リース契約、備品契約数）	件	12.00 11.00	9.00 8.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
	指標説明	リース契約、５０万円以上備品契約数　「単位：件」						
(成果)消防用活動資機材更新率	%	100.00 91.00	100.00 88.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	契約率　「単位：%」						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号	0286				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	小田　浩文
所属	2355	消防局通信指令課		記入者	木村　尚
事務事業番号	00274	通信指令業務事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	002　通信指令業務事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法、消防法				
事業概要	(事業概要) 高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等各種機器の機能を最大限に活用し、迅速、的確に出動指令を行うことを任務とし、被害の軽減及び救命率の向上を図るもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 災害は激甚化・頻発化・広域化するとともに、救急需要が増加傾向にある中で、緊急事態への即応体制や情報通信機器等の有効活用、適正管理など、高度で迅速・確実な通信指令業務の推進が必要である。 (見直しや改善等の経過) １１９番通報時から出動指令に要する時間短縮を目指し、通報受信訓練等を実施し職員の指令管制対応能力の向上を図ると共に、市民に対し消防局ＨＰ等を活用して、１１９番通報要領についての広報を行っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民からの１１９番緊急通報に対し
目的(何のために)	災害による被害の軽減と救命率を向上させるため
手段(どのようなやり方で)	高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等の活用を図り
成果(どのような状態にするのか)	迅速、的確な指令管制業務による情報収集等から、被害の軽減と救命率を向上させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	188,971	188,355	201,648	215,050	202,623	231,341	232,100
事業費	97,471	93,696	102,828	116,230	103,803	132,521	133,280
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	97,471	93,696	102,828	116,230	103,803	132,521	133,280
人件費計	91,500	94,659	98,820	98,820	98,820	98,820	98,820
事務・技術（人）	11.00	11.50	11.50	11.50	11.50	11.50	11.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.00	0.87	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0286
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2355　消防局通信指令課
事務事業番号　00274　通信指令業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-21-00-01-00	通信指令業務費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)火災への出動指令数（災害真報）	件	0.00 93.00	0.00 94.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(活動)救急への出動指令数（災害真報）	件	0.00 19,997.00	0.00 20,795.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(成果)火災事案入電から出動指令までの時間（１１９番通報）	秒	100.00 140.30	100.00 186.80	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(成果)救急事案入電から出動指令までの時間（１１９番通報）	秒	80.00 79.50	80.00 75.70	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	法令に基づき市民の安全確保を行うための専管事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	火災事案成果は達成できていないが救急事案成果は上がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	高機能消防指令システムを有効に活用できていた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	的確な指令管制により、救命率の向上に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	消防通信指令業務は、災害対応の端緒である「１１９番通報」を受信し、災害による被害の軽減と救命率の向上のため重要な役割を担っている。このことから、担当職員は常に高機能消防指令システムの機能を最大限に活用できるよう、より効果的な通信指令課員教育を実施するとともに、通報者から迅速的確に情報収集が行えるよう能力の向上を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	消防指令センターの根幹となる高機能消防指令システムを効果的に運用し、適正に指令管制業務を実施すること。特に、質の高い消防指令管制業務を目指し、通報者から迅速的確に情報収集を行えるよう通信指令課員教育を行い、災害による被害軽減と救命率の向上に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2355　消防局通信指令課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00274　通信指令業務事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)火災への出動指令数（災害真報）	件	0.00 93.00	0.00 94.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	火災出動指令数						
(活動)救急への出動指令数（災害真報）	件	0.00 19,997.00	0.00 20,795.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	救急出動指令数						
(成果)火災事案入電から出動指令までの時間（１１９番通報）	秒	100.00 140.30	100.00 186.80	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	災害地点決定、災害決定、自動隊編成、出動指令／各時間（秒）						
(成果)救急事案入電から出動指令までの時間（１１９番通報）	秒	80.00 79.50	80.00 75.70	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	災害地点決定、災害決定、自動隊編成、出動指令／各時間（秒）						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0287				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	小田　浩文
所属	2355	消防局通信指令課		記入者	木村　尚
事務事業番号	01921	通信機器等整備事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023　消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001　消防力の充実				
事務事業	003　通信機器等整備事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法、消防法				
事業概要	(事業概要) あらゆる災害から市民の安心・安全を確保するため、高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等の適正な維持管理を行うことにより、円滑で効率的な情報管理体制の確立を図るとともに、情報通信技術の進展に即した通信機器を整備し被害の軽減に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年の災害は、激甚化・頻発化、広域化するとともに、救急需要は年々増加する中で、災害対応や情報収集等を迅速・的確に行うために、情報通信機器等の整備に努める必要がある。 (見直しや改善等の経過) 高機能消防指令システムの機能を最大限に活用すべく、職員の操作研修を進めて安定稼動を図り、市民等の被害の軽減及び救命率の向上に努める。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	指令管制業務に係る各システム及び情報通信技術の進展に即した通信機器を
目的(何のために)	災害発生時における的確な情報収集及び指揮命令系統の伝達機能を確保するため
手段(どのようなやり方で)	年次計画的に整備し
成果(どのような状態にするのか)	消防隊等への支援情報の提供による効率的な部隊運用により被害の軽減を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	71,622	64,334	60,595	565,250	185,234	55,012	62,012
事業費	24,822	21,434	17,695	522,350	142,334	12,112	19,112
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	1,800	478,269	63,289	0	5,250
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	24,822	21,434	15,895	44,081	79,045	12,112	13,862
人件費計	46,800	42,900	42,900	42,900	42,900	42,900	42,900
事務・技術（人）	6.00	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0287
評価年度　令和 5年度　　進捗区分　評価完了
所属　2355　消防局通信指令課
事務事業番号　01921　通信機器等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-21-00-04-00	通信機器等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)災害への出動指令件数（災害真報）	件	0.00 19,729.00	0.00 20,290.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(成果)入電から出動指令までの時間（全災害種別１１９番通報）	秒	80.00 79.60	80.00 76.40	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	法令に基づく消防業務を遂行するために必要な事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	災害時の的確な情報収集と効率的な情報共有に繋がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	情報収集と情報共有により被害の軽減に効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	情報通信機器の整備は、効率的な消防活動を行う上で役割は大きい			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	消防指令管制業務の基幹システムである高機能消防指令システムの機能を最大限に活用し、職員の操作習熟を図り、周辺機器を含め機器の適正な維持管理を行う。また、今後ＤＸの取組みをさらに推進するため、国等の動きを見極めつつ、消防救急デジタル無線や高機能消防指令システムの整備計画について調査研究を進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	消防救急デジタル無線の更新整備、高機能消防指令システム及び各種情報通信機器の適正な維持管理に努めること。また、国等が進めるＤＸの取組みを注視し、次期高機能消防指令システムの更新整備に向け、調査研究及び検討を行うこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2355　消防局通信指令課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　01921　通信機器等整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)災害への出動指令件数（災害真報）	件	0.00 19,729.00	0.00 20,290.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	火災、救急、救助、警戒、偵察　他						
(成果)入電から出動指令までの時間（全災害種別１１９番通報）	秒	80.00 79.60	80.00 76.40	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	災害地点決定、災害決定、自動隊編成、出動指令／各時間（秒）						